



ひろげよう! まちづくりの輪 ~手と手をつなぐ大家族リレー~



まちづくり協議会で汗を流す方の、まちづくりへの参画のきっかけ、思いなどを紹介します。

翼まち協 古橋 知美さんからバトンタッチ!

—○吉浜まち協 内藤尚仁さん(子どもグループサブリーダー)



▲内藤尚仁さん

◆どういうきっかけでまちづくりに関わるようになったのですか?

直接関わりを持つようになったのは、PTAの副会長を務めたとき、まちづくり協議会の設立準備に携わったという経緯からです。

振り返ると、子どものころから節々で地域行事に参加していました。このことも、まちづくりに関わるきっかけになっていると実感しています。

◆まち協での子どもグループの活動や小学校での応急手当講習会など、“子ども”を軸にした活動をたくさんされていますね。

私自身、子どものころから地域のいろいろなことを知る機会が多くありました。現在の子どもたちを取り巻く環境の中で、地域のことを少しでも知ってもらえる機会が増えればと、まち協での子どもグループの活動に参画しています。

また、市内の各学校が児童・生徒への応急手当普及に理解を示されるなか、普及員の資格を持つ立場から、『子どもにもできることがあることを教えたい。』という気持ちで取り組んでいます。中学生のころ、父親を亡くし、子どもには何もできないと思っていましたが、実際にはできることがあったと実感しています。

◆市民の皆さんへ、まちづくりの第一歩を踏み出すメッセージをお願いします!

私たちの世代は、どこから踏み込んでいいのか判断に迷っていると感じています。実際に、私自身がそうでした。上記でのきっかけがなかったら、いまだに参画できていなかったと思います。そこで、これから一步踏み出す方ではなく、地域の先輩にお願いします。地域に協力してくれそうな気配を感じる人材がいたら、活動参加に一声かけてください!



▲子ども110番宅&通学路確認



▲七夕まつり



▲磯村順司チーフ

吉浜まち協特派員 磯村順司チーフから見た内藤さん!

内藤尚仁さんは、吉浜まち協の子どもグループのサブリーダーや応急手当普及員として活躍されるマルチな方です。毎年、子どもグループが中心となって実施する「七夕まつり」では、企画から準備、本番へと大車輪の活躍であり、内藤さんの苦勞の甲斐もあって、毎年、多くの子どもたちが参加し、大盛況となっています。今後も、内藤さんの活躍を特派員としてサポートしていきたいと思っています。

※まち協特派員…行政職員の所属部署に関係なく、チーフ1人(管理職)を含む4人の特派員により、小学校区ごとにチームを編成し、まちづくり協議会の会合への出席や活動のサポートなどを行います。